

No	質問箇所	質問	回答
1	仕様書P3	「3件以上ワークショップを開催すること」について、ワークショッププログラムはプラスチックとリチウムイオン電池の2種類開発することと思いますが、3件のワークショップは、それぞれ3件ではなく2種類のワークショップ合わせて、3件でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。ワークショップは合計3件の開催を求めています。当該3件のなかには、必ずプラスチックとリチウムイオンのどちらの素材も含まれるようにしてください。
2	仕様書P3	ワークショップは3件以上実施とのことですが、第45回全国豊かな海づくり大会～魚庭（なにわ）の海おおさか大会～は2日間の実施のようです。こちらでのワークショップの実施は1件とカウントされるのか、2件とカウントされるのかどちらでしょうか。またこちらのイベントへの出展などでかかる費用はございますか？	「第45回全国豊かな海づくり大会～魚庭（なにわ）の海おおさか大会～」におけるワークショップの開催については、開催日数に関係なく1件として数えます。開催日数や方法については、効果的なワークショップの実施となるよう、全国豊かな海づくり大会の会場内イベント情報等を踏まえて提案してください。 ブース出展に係るイベント主催者への出展費のお支払いは不要です。また、以下の備品等については、イベント事務局から無償で借用することが可能です。 ○机：2脚（幅1,800mm×奥行4,500mm×高さ700mm） ○椅子：4脚 ○2間×3間テント（W5,400mm×D3,600mm） 上記以外の備品等の使用を予定している場合には、応募金額提案書（様式3）に費用計上してください。
3	仕様書P3	また「府内市町村における環境イベントでの開催」は必ず入れなければいけない項目という理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
4	仕様書P3	上記から、第45回全国豊かな海づくり大会と府内市町村における環境イベントでの開催を含めると、これら2件のイベントで、ワークショップの開催件数は2件または3件とカウントされるという理解であってよろしいでしょうか。	「第45回全国豊かな海づくり大会～魚庭（なにわ）の海おおさか大会～」におけるワークショップの開催については、開催日数に関係なく1件として数えます。 また、「府内市町村における環境イベント」については、1イベントにつき1件として数えます。
5	仕様書P4	「展開先のリスト化にあたっては、府内市町村を除いた関係団体について、10以上を提示するものとする。」について、「府内市町村」というのは、大阪府内の43の市町村を除くということで、つまりNPO、企業、大学等で展開先のリスト化を10以上を提示するという理解でよろしいでしょうか。	大阪府内の43の市町村は含めず、NPO、企業、大学等の関係団体10以上を展開先としてリスト化し提示してください。
6	公募要領P7	「既存の環境啓発実施内容等を踏まえ」とありますが、ここで想定されている既存の環境啓発実施内容とは、例えばどのような取組（大阪府・府内市町村・民間団体等）を指すのか、具体例や参考となる資料等があればご教示ください。	国や市町村、NPO、企業、大学等が実施するごみ削減及びリサイクル等に関する環境イベント、分別及び適正排出のルールの周知啓発活動等を想定しています。
7	仕様書P2	プラスチック及びリチウムイオン電池を対象として行動変容を促進するプログラムの開発が求められておりますが、これら2つのテーマについて、両方を一体的に扱う統合型のワークショップを想定されているのか、あるいはそれぞれを個別に扱うことが可能なワークショップを想定されているのか、想定がありましたらご教示ください。	プラスチック及びリチウムイオン電池の素材について、プログラムを統合するのではなく、それぞれ独立した内容を提案してください。
8	仕様書P3	「啓発資材の形態（チラシ、動画、シール、バッジ等）については問わない」とありますが、スマートフォンやタブレット等のIT機器を活用したデジタルコンテンツ（アプリやWebコンテンツ等）の活用も想定に含まれるか、ご教示ください。	IT機器を活用したデジタルコンテンツの活用も想定に含まれます。
9	仕様書P2	内容ア プログラム案の開発について 表中プラスチックのプログラム内容は、①～④の流れをプログラム内で体験するモノづくりのワークショップを想定されているか、その限りではないのでしょうか。後者の場合、④使用・体験とは何を指すのかお示しください。	プラスチックのプログラムについては、「①廃棄物の回収⇒②廃棄物の再資源化⇒③再生材を用いた製造⇒④使用・体験」という流れを体験できるモノづくりの内容を想定しています。
10	仕様書P2	1プログラムあたりの実施時間の想定はありますか？	1プログラムあたりの実施時間について指定はありませんが、環境イベント等で開催することを前提に、効果的な実施時間を提案してください。
11	仕様書P2	内容ウ プログラム案等に関するヒアリングの実施について 5つ以上の関係団体とは、各プログラム5団体か、合計で5団体、どちらでしょうか。後者の場合、海洋プラスチック、リチウムイオン電池、それぞれのテーマで対象となる団体が違うことが想定されますが、1つの団体に2つのプログラムについてのヒアリングを実施することをお考えでしょうか？	「5つ以上の関係団体とヒアリングを実施すること」について、プログラムの対象素材を問わず合計5団体以上の実施を求めています。 提案にあたっては、1団体あたり2つの素材についてのヒアリング実施でも、1つのみの実施でも構いません。ただし、プラスチック及びリチウムイオン電池に関するヒアリングを少なくとも各1回は実施するようにしてください。
12	仕様書P2	啓発資材の作成について、仕様書P4の合計延べ人数にある通り、今年度の参加者数の100人程度の制作費用のみを見込み、来年度以降の印刷、動画配信、材料の費用は見込まなくてもいいのでしょうか？ 見込む必要がある場合、想定する人数は何人分でしょうか？	令和9年度に配布を行う啓発資材の制作費用については、応募金額提案書（様式3）に計上していただく必要はありません。
13	公募要領P3	Ⅰ 提出方法について 郵送及び電子メールとありますが、期日までに直接持ち込むことはできますか？	直接の持ち込みはできません。
14	公募要領P3	4 (2) 応募書類 Ⅰ 企画提案書についてページの上限はありますか？ Ⅱ プレゼンテーション審査について	企画提案書のページ上限はありません。
15	公募要領P7	提出の提案書と同じ内容でプレゼンテーション用に見やすく作る直すことは認められますか？	企画提案書と異なる資料でプレゼンテーションを行うことは認められません。